

区分・種別	県指定有形民俗文化財		
名称	みゆきのはし 御幸の橋		
所在地	大洲市河辺町北平		
所有者	天神社	管理団体	
指定年月日	昭和45年3月27日		
解説	<p>この橋は天神社の参道にあつて、^{あきちがわ}秋知川（肱川の上流）にか けられた屋根付きの太鼓橋である。</p> <p>明治19（1886）年、氏子総代の石浦庄吉が棟梁となって完成 したと伝えられている。</p> <p>その規模は、桁行8.3メートル、梁間3.4メートル、梁上1.75 メートルで屋根は切妻造、杉皮葺となっている。建材は桁がス ギ材で、柱・欄干・踏板はケヤキ材を用いている。（建築工法 として、クギを使用していないのが特徴）なお、桁には雨を防 ぐために桁ひさしをつけ、欄干には^{ぎぼし}擬宝珠がつけられて「御幸 乃橋」の刻名がある。</p> <p>御幸（神幸）の名や屋根をつけ雨露を防ぐなど、素ぼくな信 仰心を表したものといえよう。</p>		

